T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO Guide Map

〈Google マップ〉　〈会場のご案内〉

展示企画一覧

〈「現代の東京」と出合うエリア〉

東京駅東側エリアはまさに今、東京の中でも大きく姿を変えているエリアです。このエリアでは、多様化する価値観や進化する技術などと向き合う現代の作家たちの作品や、東京という街の今を見つめる作品を展示します。

企画展 『態度が〈写真〉になるならば』(無料) 【1a】〜【1h】

私たちの生活と切り離すことができない物事に向き合うアーティストたち。その目にみえない思考は、様々な作品へと変換されます。例えば、家族、都市、歴史、ジェンダー、公共などに向けられる彼/彼女たちの視座を「態度」とよぶならば、それらが「写真」になるとき私たちは何を期待するでしょうか。写真という概念すらもアップデートされていく今日、アーティストたちの世界を見つめる眼差しをぜひ探求してみてください。

会　　期：2023年10月7日(土)〜10月29日(日)
【1a】Elsa & Johanna / BAG-Brillia Art Gallery-+2 (11:00-19:00 休館日：月) ※祝日は営業
【1b】System of Culture / 東京建物日本橋ビル (平日7:00-20:00 / 土8:00-17:00 休館日：日)
【1c】SCAN THE WORLD / 東京ミッドタウン八重洲 1Fアトリウム (11:00-21:00)
【1d】デヴィッド・ホーヴィッツ / 東京ミッドタウン八重洲 + 東京建物八重洲仲通りビル
【1e】寺田健人 / 東京建物八重洲ビル (8:00-20:00 休館日：土・日・祝) ※外からの鑑賞は可能
【1f】西野壮平 / 東京ミッドタウン八重洲 3F (11:00-21:00)
【1g】新田樹 / 東京スクエアガーデン 1F&2F (8:00-21:00 1F屋内展示は平日のみ開館)
【1h】Lilly Lulay / 東京ミッドタウン八重洲 B1&2F (10:00-21:00)

企画展 『Tokyo Dialogue 2023』(無料) 【2】

T3 PHOTO FESTIVAL TOKYOが、東京・京橋に120年余り本社を構える戸田建設株式会社と共同で、2022-24年の3年間にかけて実施するプロジェクトの第二弾。このプロジェクトでは、毎年、写真家と書き手がペアとなり、京橋を舞台に「写真」と「言葉」で紡ぎだす“対話”を通して、変わりゆく都市の姿を描き出します。

会　　期：2023年10月7日(土)〜29日(日) ※工事の状況により、一部作品をご覧頂けない場合がございます。
会　　場：TODA BUILDING工事仮囲(東・南面)(東京都中央区京橋1-7-1)
出展作家：山元彩香×川野芽生、村越としや×神野紗希、濱田祐史×水沢なお
キュレーター：小髙美穂

企画展 公文健太郎写真展「眠る島」(無料) 【3】

瀬戸内海の四国と本州が最も接近する海域に、大小28の島々からなる塩飽(しわく)諸島。そこに浮かぶ島のひとつが本展の舞台となる「手島」です。最盛期は800人ほどいた人口も、現在は16人。ゆっくりと眠るように暮らしを閉じていく手島の光景に、命のサイクルと美しさを見た公文が捉えた風景は、都市空間の中にどのような時間をもたらすのでしょうか。

会　　期：2023年10月7日(土)〜29日(日)
会　　場：東京建物八重洲ビル ステップテラス
出展作家：公文健太郎

アソシエイトプログラム 石田真澄写真展「falling light」(無料) 【7】

T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO2023のアソシエイトプログラムとして写真家・石田真澄による八重洲・日本橋・京橋エリアの撮りおろし作品『falling light』を展示します。目の前を通り過ぎていく時間の中で、石田が捉えるのは決定的というよりもむしろ何気ない瞬間、それでいていつまでも見ていられるような風景です。本展ではそんな石田の眼差しが捉えた都市の光を集めた屋外展示となります。

会　　期：2023年10月3日(火)〜10月31日(火)
会　　場：YAESU st. PARKLET(ヤエスストリート パークレット)
　　東京都中央区八重洲2丁目内　　八重洲通り南側　(東京ミッドタウン八重洲前)
出展作家：石田真澄

〈「1970年代の東京」を感じるエリア〉

京橋と日本橋をまたぐ東仲通り(骨董通り)は、約150の画廊・古美術商が存在する東京の中でも特色のある通りの1つを形成しています。70年代前後に建てられたビルが多い本エリアでは、同時代にフォーカスした作品を展示。この街に流れる様々な時間をお楽しみください。

企画展 「Back to the Future -70's Japanese Photography」(無料) 【4】

権威・権力・伝統に反旗を翻した「激動の60年代」を経て、1970年代はあらゆるものの輪郭が揺らぎはじめます。日本、個人、写真……。こうした状況はまさに今の私たちの「未来」を振り返るようです。本企画展では、同時代の他の分野の動向にも触れながら、70年代の熱気を感じることができる写真集や写真雑誌、関連書籍、当時のフライヤーなどを70年代に存在していた建物で展示します。

会　　期：2023年10月7日(土)〜10月29日(日) 12:00〜19:00 (休館日：月・火) ※祝日は開館
会　　場：72Gallery (東京都中央区京橋3-6-6)
キュレーター：調文明

企画展 山崎博写真展「10 POINTS HELIOGRAPHY 82/23」(無料) 【5】

写真家・映像作家の山崎博が1982年に撮影・発表した写真作品。2日間にわたり都内10カ所で同時に太陽を長時間露光した作品で、当時の個展および『アサヒカメラ』誌上で発表後、37年もの間忘れ去られていた幻の大作である。“光学的事件”を追求した作家の到達点であり、その鮮烈な視覚体験は発表後40年を超えた今日でも色あせることがない。

会　　期：2023年10月3日(火)〜10月29日(日) 11:00〜18:30 (休館日：月) ※10月27日(金)は20:00まで
会　　場：国立映画アーカイブ　1階ロビー (東京都中央区京橋 3-7-6)
出 展 作 家：山崎博
キュレーター：石田哲朗 (東京都写真美術館 学芸員)

アソシエイトプログラム 萩原朔美展「70's Experiments」(無料) 【6】

国立映画アーカイブのロビーで開催される山崎博写真展『10 POINTS HELIOGRAPHY 82/23』と連携し、山崎の高校時代からの親しい友人でもある映像作家・萩原朔美の70年代の実験的な映像作品を展示する。展示作品は《TIME》、《KIRI》、《BUTTERFLY》、《日曜日に僕が見たもの》、《DRAMA》。なお、10月21日(土)には、国立映画アーカイブにて『特別上映会　山崎博作品集+《山崎博の海》上映&トーク』を開催する。

会　　期：2023年10月17日(火)〜10月28日(土) 11:30〜19:00 ※最終日は17:00まで (休館日：日)
会　　場：art space kimura ASK? (東京都中央区京橋3-6-5木邑ビル2階)
出展作家：萩原朔美

〈学生プロジェクト〉

学生展示 「T3 STUDENT GALLERY 2023」(無料) 【8a】

14の美術大学・専門学校から選ばれた各校代表の学生たちが、作品を展示。これからの時代を担っていく世代たちが今、何を見つめ、どんな作品をつくっているのか、ぜひご覧ください。

会　　期：2023年10月7日(土)〜10月29日(日) 11:00〜23:00
会　　場：JR東京駅(八重洲中央口改札外 グランスタ八重洲：B1)(千代田区丸の内1-9-1)
出展作家名(学校名)：李 金陽(大阪芸術大学)、山田 麗音(京都芸術大学)、井橋 杏樹(女子美術大学)、張 景翔(多摩美術大学)、原 響希(東京藝術大学)、森 凌我(東京工芸大学)、袁 辰(東京綜合写真専門学校)、ハン セイエイ(東京造形大学)、胡 揚(東京ビジュアルアーツ)、松下 奈央(日本写真映像専門学校)、坂々 なな(日本写真芸術専門学校)、菊池 心音(日本大学芸術学部写真学科)、小林 世弥(ビジュアルアーツ専門学校大阪)、黄 麗穎(武蔵野美術大学)

アソシエイトプログラム T3 STUDENT PROJECT 2022 Grand Prix 受賞作家新作展　辻凪彩『Composition of Delicious』(無料) 【8b】

昨年10月に開催された「T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO 2022」にて、写真を学べる13の美大・専門学校生による選抜ポートフォリオ展「T3 STUDENT PROJECT」でグランプリを受賞した辻凪彩(東京藝術大学絵画科油画専攻)による新作発表展です。

会　　期：2023年10月4日(水)〜10月31日(火) 10:00-20:00
会　　場：大丸東京店(1階：有楽町側出入口プラダ横 & JR側店外大型デジタルサイネージ)
出展作家：辻凪彩

〈地域連携展示〉

【9a】「浅田政志 ぎぼしうちに生まれまして。」/ 桃六　【9b】「浅田政志 ぎぼしうちに生まれまして。」/ 白木屋伝兵衛
【9c】オノデラユキ from owner's collection / Galerie non
【9d】「浅田政志 ぎぼしうちに生まれまして。」/ 和洋料理きむら　【9e】齋藤陽道「絶対」/ BAG-Brillia Art Gallery- +1
【9g】「アクセンチュア芸術部 私たちは一人ではない」/ 東京スクエアガーデン 3F

T3 PHOTO FESTIVAL TOKYOとは?

「T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO」は、今年で5回目となる屋外型国際写真祭です。メインの舞台となるのは東京の中心である八重洲・日本橋・京橋。オフィス街のイメージが強いエリアですが、その歴史を紐解くと異なる風景が見えてきます。江戸時代は狩野派の絵師や歌川広重が暮らし、江戸歌舞伎が発祥した城下町であり、明治、大正、昭和にかけては多くの文化人が足しげく通った街でした。それ故にこの地には今もその歴史を受け継ぐ老舗や150以上の古美術商や画廊が存在します。本年は過去最大となる20人以上の作家たちが、ビル壁面を使った巨大な展示や都市空間を活かしたインスタレーション、参加型アート作品など、ここでしか見られない展示を行います。街を探索しながら作品との出合いをお楽しみください。

名称の由来

「T3」という名称は、米国の社会学者リチャード・フロリダが著書『クリエイティブ資本論』で提唱した都市の繁栄に必要な「3つのT(技術、才能、寛容性)」に由来しています。このフェスティバルが、アーティストと地域の人たちが関わるプラットフォームとなり、新たな表現や、都市空間の解釈、多様性や寛容性が生み出される場になる事をその意味に込めています。

2023年度の開催テーマは「LINK UP!」

本年度 のテーマは「LINK UP!」です。「古いものと新しいもの」や「リアルとオンライン」が混在した現代。言い換えるとそれは「時間」と「距離」という座標軸において、そのグラデーションが最も豊かな時代に生きていると言えます。「LINK UP!」は、その座標軸の中で、今まで想像もしなかった点と点を結ぶことにより、その豊かさを楽しむ為のキーワードです。

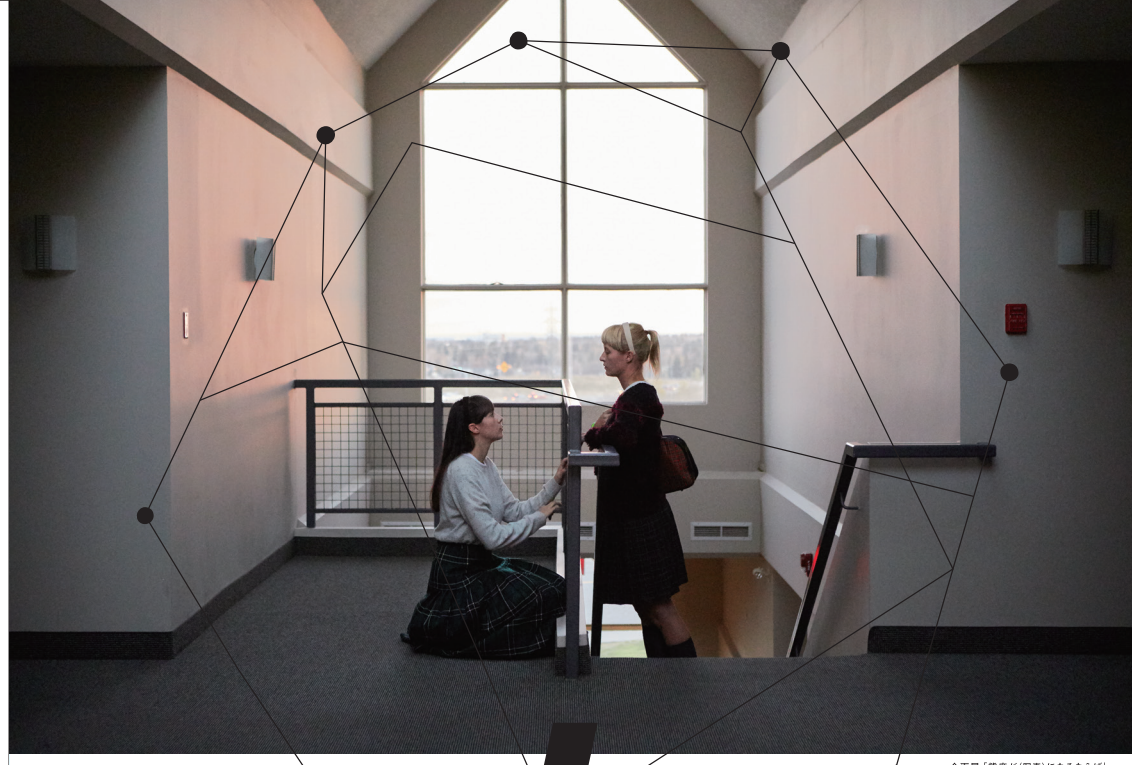
開催概要

名　　称:T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO 2023
会　　期:2023年10月7日(土)〜29日(日)
会　　場:東京駅東側エリア(八重洲・日本橋・京橋)
東京スクエアガーデン、東京ミッドタウン八重洲、JR東京駅(八重洲中央口改札外 グランスタ八重洲)
国立映画アーカイブ、TODA BUILDING工事仮囲、東京建物八重洲ビル、東京建物日本橋ビル
東京建物八重洲仲通りビル、大丸東京店、BAG-Brillia Art Gallery- +2、art space kimura ASK?
72Gallery、YAESU st. PARKLET他
入　　場:無料
主　　催:一般社団法人TOKYO INSTITUTE of PHOTOGRAPHY
主　　管:株式会社シー・エム・エス
企　　画:T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO実行委員会
特別協賛:TOKYO SQUARE GARDEN、東京ミッドタウン八重洲、東京建物株式会社、戸田建設株式会社
協　　賛:一般社団法人東京ステーションシティ運営協議会、POTLUCK YAESU、中央日本土地建物株式会社
大丸東京店
特別協力:写真文化首都「写真の町」東川町
協　　力:国立映画アーカイブ、東京地下鉄株式会社、株式会社POD、株式会社フラットラボ
公益財団法人 彫刻の森芸術文化財団、株式会社クオラス、株式会社写真弘社
有限会社フォトグラファーズ・ラボラトリー、株式会社ゆめみ、ブラザー販売株式会社
後　　援:京橋一の部連合町会、京橋三丁目町会、八重洲一丁目東町会
助　　成:公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京【芸術文化魅力創出助成】
在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ

ARTS COUNCIL TOKYO

※2023年9月25日時点　※情報は更新される可能性がございます。

その他、イベント・企画展の詳細情報は公式サイトおよび、公式SNSをご確ください。
https://t3photo.tokyo/
T3公式サイト



企画展「態度が(写真)になるならば」
Elsa & Johanna *Beyond the Shadows*

屋外型国際写真祭

T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO

LINK UP!

東京駅東側エリア(八重洲・日本橋・京橋)に世界水準の写真作品が大集結!

2023.10.7 Sat ⟶ 10.29 Sun

会場:東京駅東側エリア(八重洲・日本橋・京橋) 15+会場 | 入場料:無料

イベント一覧

SPECIAL TALK SHOW 2023(有料/事前申込制)

SCAN THE WORLDやデヴィッド・ホーヴィッツなど出展作家によるワークショップや、寺田健人、公文健太郎、リリィ・ルーレイ、エルザ&ジョアンナなど国内外の出展作家によるトークイベントを開催。
会期:10月7日(土)、8日(日)、9日(月・祝)、10日(火)、21日(土)他
会場:東京ミッドタウン八重洲 5階スタジオ
TOKYO INSTITUTE of PHOTOGRAPHY
(東京都中央区京橋3-6-6)

PROJECTION NIGHTS 2023(有料/事前申込制)

『LONG SEASON』と雑誌『写真』がそれぞれキュレーションする、二夜にわたるスライドショー。今最も見せたい作品を会場限定で上映します。
Night 1 出演作家:草野庸子、新田樹、松岡一哲、笠井爾示
Night 2 出演作家:石川竜一、小松浩子、熊谷聖司、山谷佑介、中井菜央
会期:10月13日(金)19:00 〜 / 10月14日(土)18:00 〜
会場:TOKYO INSTITUTE of PHOTOGRAPHY
(東京都中央区京橋3-6-6)

Print House Session 2023 & photomarket(無料/事前申込不要)

flotsam booksとroshin booksによる運営とディレクションで開催するフォトブックフェア。国内外で活躍している作家や出版社、書店、写真を学ぶ学生が出店し、写真集やzineを中心とした楽しいブースが軒を連ねます。
会期:10月8日(日)、9日(月・祝)11:00 〜 17:30
会場:東京スクエアガーデン(1階:貫通通路)
(東京都中央区京橋3-1-1)

東川 FAN MEET in TOKYO 2023(来場無料※一部のプログラムは有料)

写真の町として来年で40周年を迎える「東川町」。「写真」を軸に「写真」だけじゃない東川と出会う場を『T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO 2023』の会期と合わせて開催します。東川のファンが集い、またイベントに訪れた人が新たなファンになる場所。それが、『東川 FAN MEET in TOKYO 2023』です。
会期:10月3日(火)〜10月9日(月・祝)11:00 - 21:00
会場:POTLUCK YAESU内(東京ミッドタウン八重洲 5階)

スタンプラリーで来場記念となる「NFT」をゲットしよう

東京駅東側エリアの各作品展示会場では、QRコードをお手持ちのスマートフォンで読み込んで集めるデジタルスタンプラリーを開催。各展示会場を巡ると、その場を訪れた参加証明バッジとしてPOAPと呼ばれるNFTを獲得できます。6つ以上の会場を巡り、72Galleryでアンケートに回答するとオリジナルグッズをプレゼント。会期中、スマホがあれば誰でも無料で参加できるので鑑賞と合わせてお楽しみください。
会場:JR東京駅 八重洲中央口改札外 グランスタ八重洲、大丸東京店、東京ミッドタウン八重洲、東京建物八重洲ビル、東京建物日本橋ビル、TODA BUILDING工事仮囲、東京スクエアガーデン、72Gallery、BAG-Brillia Art Gallery- +2、国立映画アーカイブなど(スタンプラリー会場はMAPの★を参照)

ポートフォリオレビュー&ワークショップ(有料/事前申込制)

アメリカで高い影響力を誇る写真サイト「Lenscratch」創刊者兼編集長アリーン・スミスソンが来日。海外を含めたアートマーケットに照準を向けた作家の為のポートフォリオレビュー&ワークショップを行います。【Day1】は、「ポートフォリオレビュー」、【Day2】は、「ファインアートの写真マーケットにあなたの作品を紹介する」をテーマにディスカッション形式の「ワークショップ」となります。
企画協力・通訳:Nobechi Creative 野辺地ジョージ
開催日:【Day1】10月14日(土)10:00-15:00　【Day2】10月15日(日)10:00-16:00
会　場:TOKYO INSTITUTE of PHOTOGRAPHY(東京都中央区京橋3-6-6)

『Tokyo Dialogue 2023 〜写真と言葉による対話〜』(有料/事前申込制)

京橋を舞台に「写真」と「言葉」で紡ぐ"対話"を通して、変わりゆく都市の姿を描き出す「Tokyo Dialogue」の特別企画として二部構成のトークイベントを開催。第一部では水沢なお、神野紗希、川野芽生が「言葉の中の私性」について、第二部では濱田祐史、村越としや、山元彩香が「写真の中の時間性」について語ります。
(司会:小髙美穂)
開催日:10月19日(木)
時　間:第一部 18:00-19:10 / 第二部 19:20-20:30
会　場:TOKYO INSTITUTE of PHOTOGRAPHY

T3 STUDENT PROJECT2023特別公開講座(無料/事前申込制)

日本大学芸術学部写真学科、大阪芸術大学、日本写真芸術専門学校による3つの「特別授業」を公開。高校生から大人まで、写真や美術教育に興味がある人なら誰でも参加可能な学びの場を提供します。
開催日:10月24日(火)、25日(水)、26日(木)
いずれも19:30-20:30
会　場:オンライン(オンライン会議システムのZoomを利用します)

J-カメラポップアップショップ 中古カメラバーゲン2023(無料/事前申込不要)

J-カメラ加盟店5店舗によるバラエティー豊かな充実の品揃えの中から、お気に入りの一台と巡り合うチャンス!さらに今年も、来場者特典として両日プレゼントをご用意予定。
会　期:10月28日(土)・10月29日(日)
会　場:ナカノギンザギャラリー(東京都中央区銀座1-21-4)

作品集『Tokyo Dialogue 2023』

本展に向けて制作された作品(写真38点・詩歌21点、展覧会未発表作を含む)を収録。T3 PHOTO FESTIVAL TOKYO 2023の会期中に販売します。
販売場所:72Gallery(MAP:info01)　販売価格:2,000円(税込)
写真:山元彩香/村越としや/濱田祐史　言葉:川野芽生/神野紗希/水沢なお　デザイン:中島雄太(Yuta Design Studio)　仕様:A5判・64頁

クラウドファンディング

今年の「クラウドファンディング」では公文健太郎など複数の作家のオリジナルTシャツなどの「リターン」が。世界的な国際写真祭を東京でも開催し続けていくためのチャレンジを、是非ご支援ください。